

# Contents

---

1. 論理の基本
2. 前提から結論までのつなぎかた
3. 事実としての正しさを考えるプロセス
4. そして実務へ

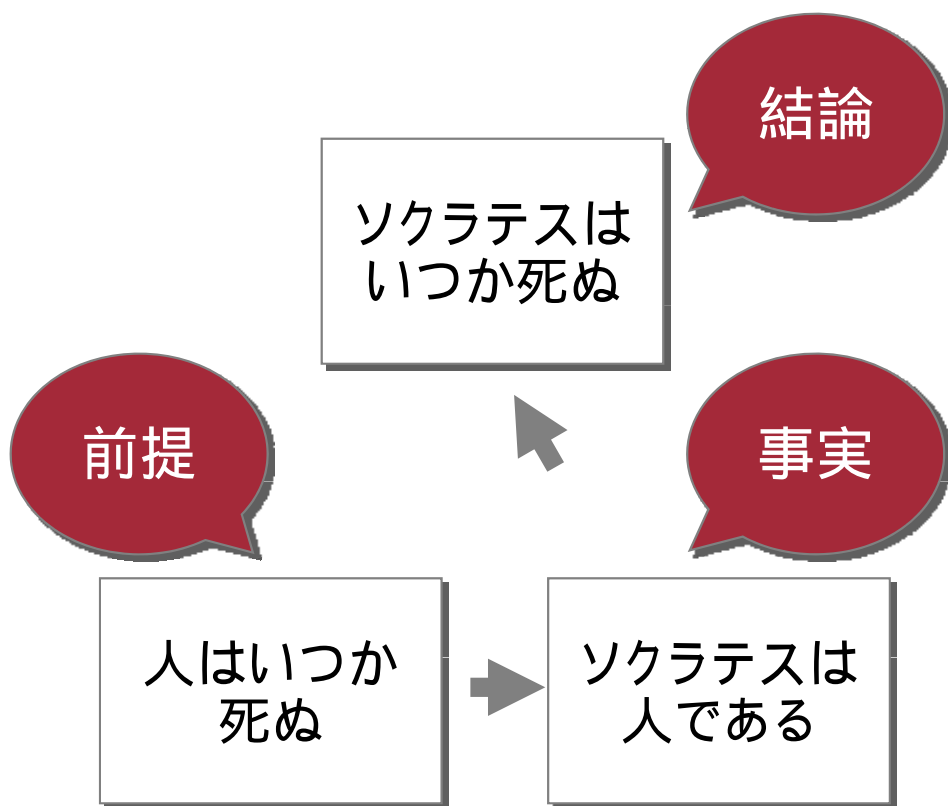
# 1 論理の基本

学習の目的

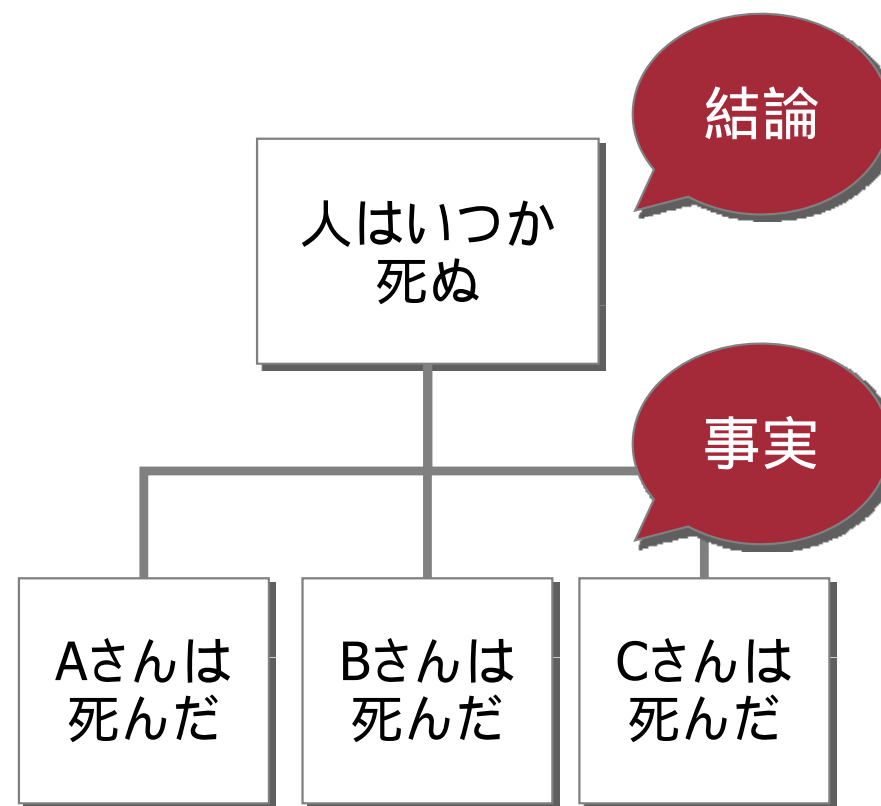
- ✓ 論理とは何か?
- ✓ なぜ論理が大切か?
- ✓ 本コースでは論理をどのように学習するのか?
- ✓ どのような態度で学習に臨むのか?

2つ以上の情報を関連づけ、そこから結論を必然的に導き出す論理構成を演繹法といいます。複数の事実間にある共通点や相違点から結論を導き出す論理構成を帰納法といいます。

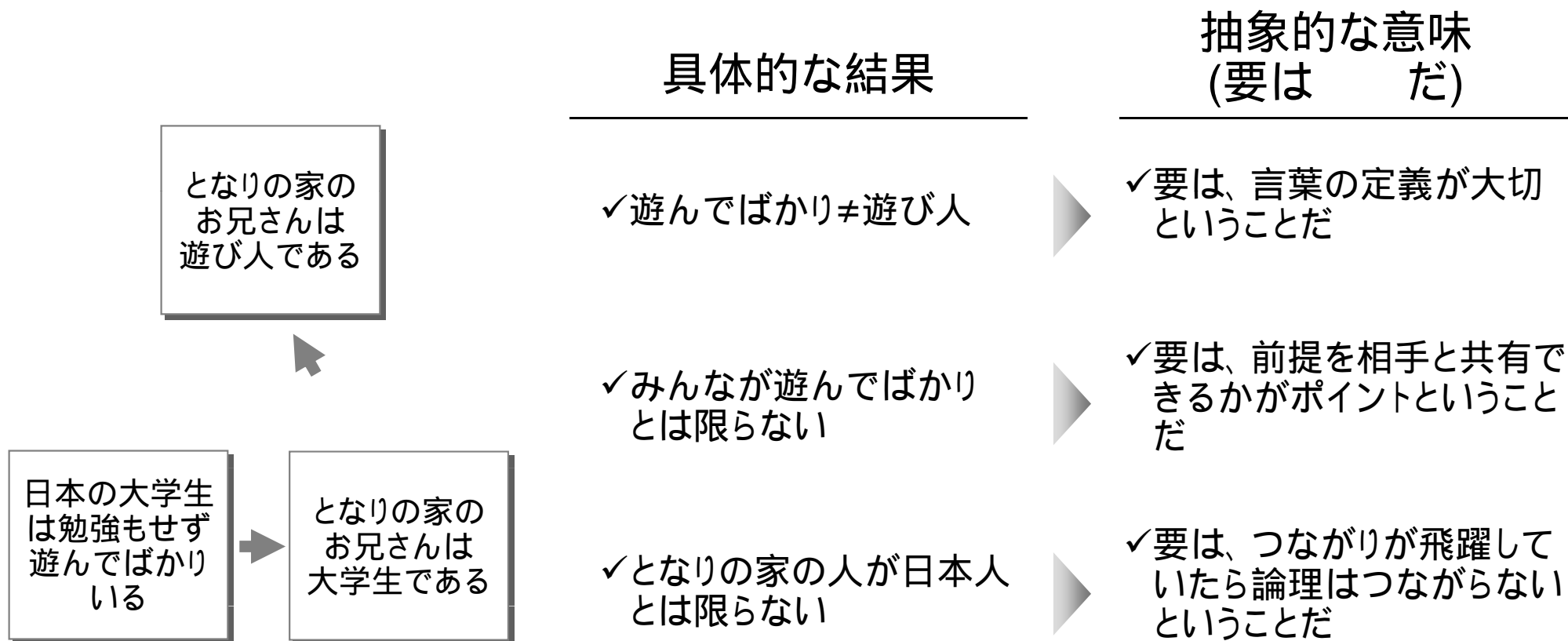
## 演繹法



## 帰納法



演繹法では前提から結論までの論理展開に必然性があります。そのため、一ヶ所でも必然性が感じられないと、納得できなくなってしまいます。



日常の会話でも無意識に演繹法を使っています。ただし、多くの場合は前提を「阿吽の呼吸」で省略しています。しかし、他の世代・文化・常識を持つ相手と通じるには、前提を共有できているか確かめることが大切です。

## 結論

森林破壊はすさまじい  
スピードで進んでおり、  
対策を要する

## 前提条件のポイント

- ✓ 東京ドームを知らないに通じない
- ✓ さらに、大きいとっていないと通じない
- ✓ 20秒が短いと思わないとすさまじいスピードとは思わない
- ✓ 森林を大切と思わないと対策が必要とは思えない

## 前提

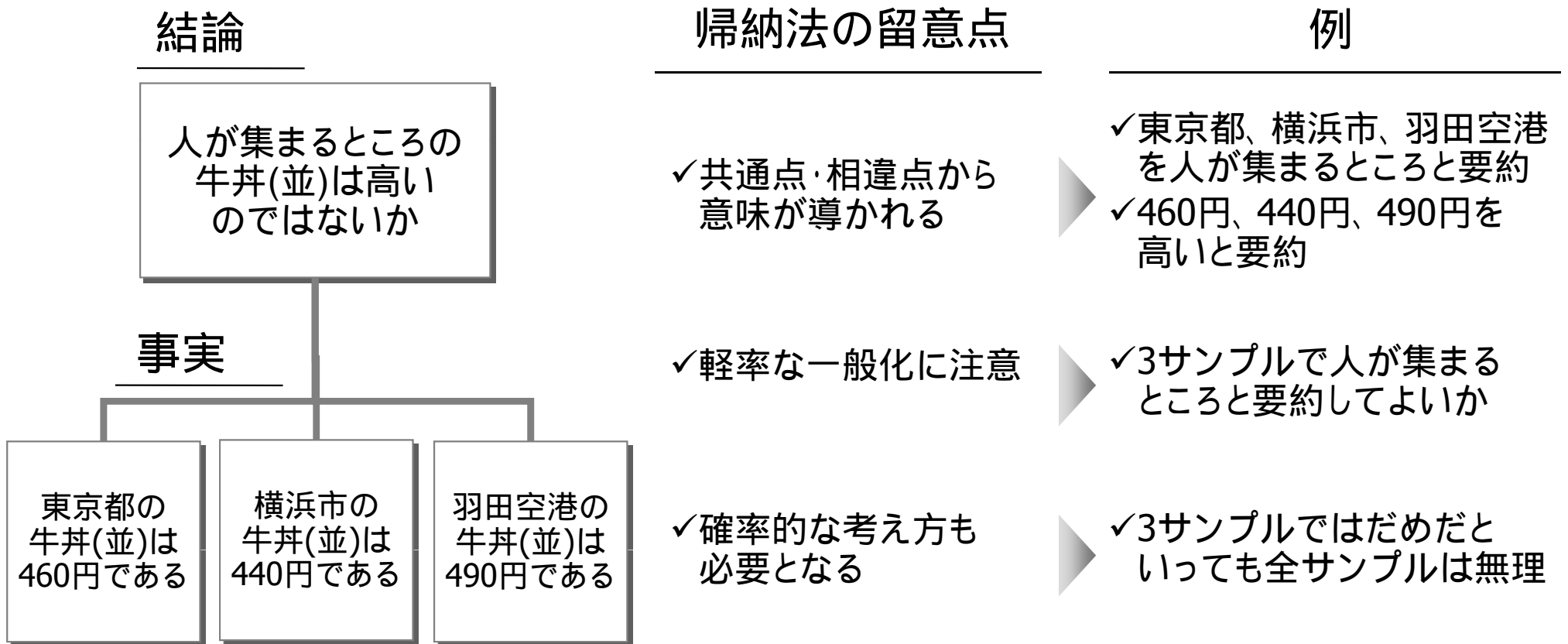
- ✓ 東京ドームは大きい
- ✓ 20秒は短い
- ✓ 森林は大切だ

## 事実

世界の森林は  
20秒に東京ドーム  
1個分減っている

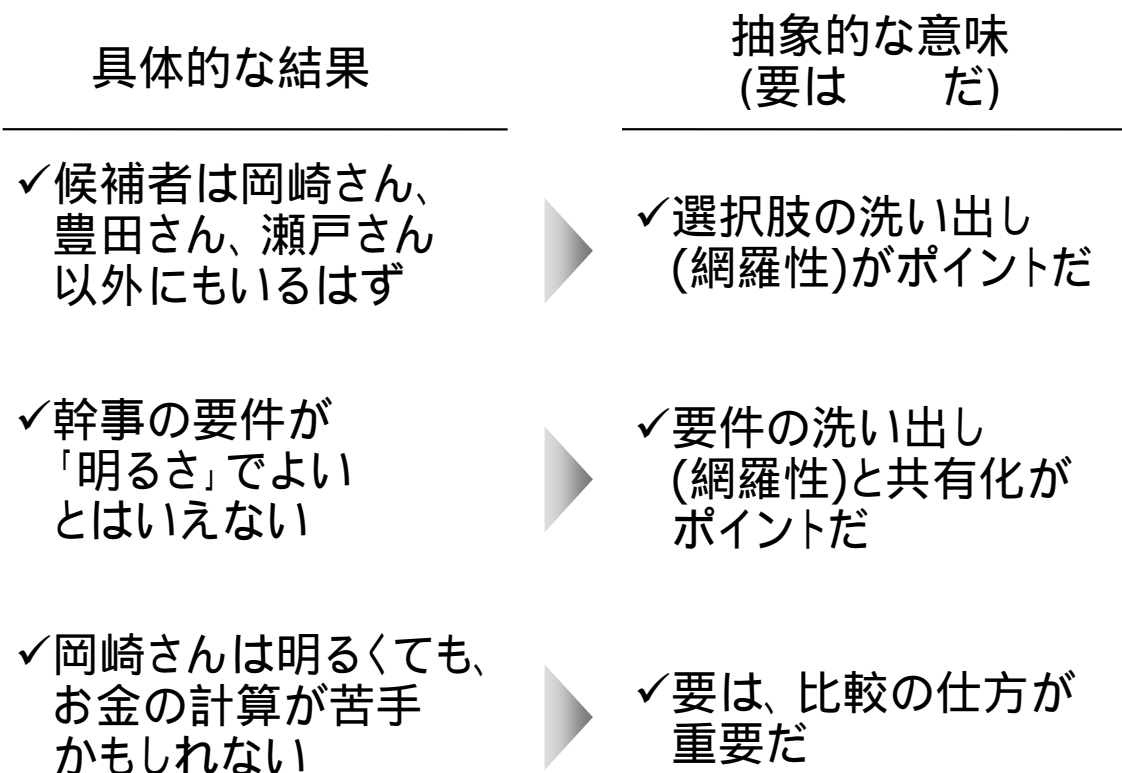
論理構成上「事実」と書いてありますが、架空の情報です。

帰納法では、複数の事実間にある共通点や相違点を見つけられなければ結論が導けません。そのため、共通点や相違点を見つける知識が必要になります。



論理構成上「事実」と書いてありますが、架空の情報です。

比較のポイントは選択肢と要件を明確にすることです。



要件の洗い出し

	明るさ	もの静かさ	お金の計算
岡崎さん	?	?	?
豊田さん	?	?	×
瀬戸さん	?	×	?
選択肢の 洗い出し	: 明るい、もの静かでない、お金の計算が得意 × : 明るくない、もの静か、お金の計算が苦手		

比較の仕方

上から下に論理構成を考える際には、「何がいえればよいか」を問う必要があります。  
下から上に論理構成を考える際には、「何がいえるか」を問う必要があります。

## 結論(上)から考える論理

同期会の幹事は  
岡崎さんが最適?

何がいえればよいか

- ✓ 同期会の幹事の要件は「明るい」でいい?
- ✓ 選択肢は岡崎、瀬戸、豊田の3名でいい?

岡崎さん、瀬戸さん、豊田さんはそれぞれどう?

## 事実(下)から考える論理

人が集まるところの  
牛丼(並)は高い  
のではないか?

何が言えるか

- ✓ 東京都 : 460円
- ✓ 横浜市 : 440円
- ✓ 羽田空港 : 490円
- ✓ 石川県 : 330円
- ✓ 新潟県 : 350円

- ✓ 東京都、横浜市、羽田空港は大都市部
- ✓ 石川県、新潟県は中規模都市



本コースは「考える」を考えます。現在の疑問を列挙し、ひとつずつ解消していきましょう。

## 本章の目的

## 本章で確認したこと

✓論理とは何か?

- ✓つながりの正しさ
- ✓要素の正しさ

✓なぜ論理が大切なのか?

- ✓必要性・目的を確認できましたか?
- ✓情報を交換する力が必要です
- ✓考える問題が複雑化しています

✓本コースでは論理を  
どのように学習するのか?

- ✓2章で相手が理解しやすい論理展開を考えます
- ✓3章で正しさを担保するための思考プロセスを考えます

✓どのような態度で学習に  
臨むのか?

- ✓学習の中心は振り返りです
- ✓「要は だ」とポイントを腹落ちさせることが大切です

✓他には?

- ✓実況中継は価値がありません
- ✓何が同じか、何が違うかを比較することが考えるということ